

# 令和3年度 施政方針



令和3年2月24日に開会した市議会3月定例会の冒頭で、久喜邦康市長が発表した令和3年度の市政経営に対する基本的な考え方である施政方針の概要を抜粋してお伝えします。

## 「コロナから市民の命と生活を守る」

「ウィズコロナとアフターコロナ、迅速・適切に、変化への対応、国難ともいえる時代を乗り越え、新しい秩父市創造・未来への挑戦」を令和3年度の大きなテーマとして掲げ、新型コロナウイルスへの対応を中心とした1年とします。

## 最重要事項5項目

### ●感染拡大防止

(1)生活に感染防止策を徹底、ワクチン接種など各種事業を展開  
市民への周知では、3密を避け、手洗いとマスクの着用などが徹底されるよう、市報、SNS、秩父おもてなしTVや、ちちぶエフェムなどを活用し、感染防止に関する啓発を積極的に行います。

ワクチンの接種事業では、国が示した接種順位を踏まえ、県、市、医師会との連携による接種体制の構築を進めています。医療従事者等から先行接種が開始となり、続いて高齢者、基礎疾患のある方、

高齢者施設等の従事者に対して、優先して実施します。

また、秩父地域1市4町は秩父郡市医師会と覚書を締結し、今後の協力関係に関する確認を行いました。市町村の枠を超えて、地域全体でのワクチン接種の取り組みは、全国初です。

埼玉県唯一の医師の市長として、引き続き、見識を持って埼玉県や医師会への働きかけを行い、緊密な連携のもと、迅速かつ適切にワクチンの接種を実施します。

健康増進事業では、健康相談や健康教育を実施します。また、秩父市版健康マイレージ事業を拡充し、楽しみながら継続した運動が実施できるよう推進します。

また、飲食店や旅館等における感染防止策をお願いするとともに、コロナ禍で落ち込んだ観光関連産業の消費拡大を図ります。

避難所のコロナ対策では、消毒用アルコールや間仕切りテントなどの資機材を活用するとともに、可能な限り多くの避難所を開設し

ます。また、避難所として活用可能な旅館やホテルを検討します。

(2)市立病院を新型コロナウイルス感染症治療の地域中核病院として、また、2次救急医療の拠点として、行政で支える

新型コロナウイルスの感染治療では、的確な医療を提供するとともに、院内感染の防止に配慮し、地域の中核公立病院としての責務を果たします。また、秩父郡市医師会、秩父郡市歯科医師会、秩父郡市薬剤師会との連携をさらに強化し、協働で医療体制を整えます。

救急医療体制については、地域の2次救急を維持するため、医師等の確保や勤務条件の改善など、救急医療体制を堅持します。老朽化が進んでいる市立病院では、病院施設の建替えについて、総合的な検討を進めてまいります。

産科医療の充実支援では、秩父地域で唯一の産科診療所を支援するため、ちちぶ医療協議会が県との連携により、埼玉医科大学病院と埼玉医科大学総合医療センターから産科医師を派遣していただいています。今後も財政支援を継続するほか、地域における適正な産科医療体制を維持してまいります。

(3)BCP(秩父市業務継続計画)に基づき、環境整備、感染拡大を防止しながら業務を遂行

電子申請の推進では、市民の方が自宅等から申請が可能となるよ

う、電子申請の項目を増やすとともに、対象窓口や必要書類を案内するサイトを運用し、庁舎内に留まる時間を短縮し、感染拡大防止を図ります。

テレワーク、ウェブ会議システムなどの活用では、電子化による新しい「働き方改革」を実践します。

●アフターコロナに向けた経済対策  
(1)秩父市の利便性をアピールし、企業誘致、移住促進を図る

企業誘致では、旧秩父セメント第1工場跡地で株式会社オプナスの操業が開始されました。残る跡地への企業誘致を引き続き積極的に推進し、雇用の確保と産業振興に努めます。また、市民待望の映画館「シネマコンプレックス」の来年春の営業開始に向けて、支援をします。

さらに、新たにIT関連企業等のサテライトオフィスの誘致にも取り組み、IT関連オフィス開設補助金を創設します。

中小企業に対する支援では、新たに新分野進出チャレンジ補助金を創設します。また、テレワークやオンライン会議の導入支援にも取り組みます。さらに、緊急特別融資制度など、市独自の効果的な対策を継続的に打ち出します。

道の駅ちちぶの充実では、周辺の各種施設と連携した機能的な道の駅となるよう、開発構想をまとめます。

**秩父版CCRC**（秩父市生涯活躍のまちづくり）では、引き続き、若い方も含めた多世代を対象とする**総合事業**（移住・交流促進事業）と、アクティブシニアを対象とする**モデル事業**（拠点整備事業）の2本柱で、人口増加策を推進します。

秩父地域の**県立4高校の魅力化プロジェクト**では、それぞれの特色を活かした地域連携を進め、地元中学生の地元高校への進学率を高めます。

(2)秩父地域おもてなし観光公社との連携を強化し、**インバウンド事業を進める**

**インバウンド事業の取り組み**では、外国人観光客の受け入れ態勢を整えます。

**アニメツurisムの推進**では、テレビアニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」の初放送から10周年を迎える節目の年に当たり、記念事業を実施します。また、県が実施する秩父公園橋の照明交換工事に合わせて、ライトアップ設備をフルカラーLED化する費用の一部を負担し、**秩父公園橋の魅力向上**につなげます。

**秩父ジオグラビティパーク**への支援では、新たにバンジージャンプが完成することから、三峰口駅周辺の活性化を目指します。

(3)労働力の不足が懸念、**雇用環境の改善を図る**

産業界との連絡調整を一元化し、

秩父経済の総合的な発展のため、産業支援課を設置し、企業誘致や商工業支援、雇用対策等に取り組みます。

**産業振興および労働力の確保**では、厚生労働省の委託事業である**地域雇用活性化推進事業**および**生涯現役促進地域連携事業**により、「健やかに彩り豊かなまちづくりプロジェクト」を秩父地域1市4町で推進します。

●**少子高齢化への対応**

(1)少子化に歯止めをかける政策、子育てへの不安を解消する政策、子育て世代の働きやすい職場づくりを推進

**結婚新生活支援事業**では、新規に婚姻した世帯に対して、一定の条件のもと、住宅費用等の一部を助成し、婚姻率の向上に努めます。

**秩父版ネウボラ事業の推進**では、切れ目のないサポートを行い、子育てしやすい環境を整えます。

**子どもたちの版地域包括ケアシステム**の構築では、子ども食堂を中心に学習支援や多世代交流などを行う居場所づくり事業を拡大させ、体制整備を図ります。

**子ども家庭総合支援拠点の整備**では、子育てに関する総合的な支援機関の令和4年度中の開設に向けて、検討・準備を進めます。

(2)教育環境の整備、基礎学力の向上を図るとともに、いじめや差別を許さない心の教育を推進

GIGAスクールの推進では、

児童生徒1人1台のモバイル端末の活用を着実に進め、ICT教育を推進します。また、オンライン授業や学習支援動画の積極的な配信を行います。

**英語教育の充実**では、ALTを有効活用するとともに、アンチオック市との交流や外部指導者を招聘した事業を展開し、国際感覚が身に付くよう取り組んでいきます。

**ISS（インターナショナルセーフスクール）の取り組み**では、秩父第二中学校区内の3校において、再々認証の取得を目指します。

**学校環境の整備**では、国の補助金を活用した校舎、体育館の老朽化対策事業を学校施設長寿命化計画に沿って進めます。

(3)健康に暮らし続けることができ、高齢者に優しいまちづくり

**公共交通**では、秩父地域全体を一体的に捉えた地域公共交通計画の作成を進め、地域住民の移動手段の確保に努めます。

**介護予防活動・フレイル(※)対策**では、「秩父ポテくまくん健康体操」「秩父市地域サロン活動事業」を展開し、健康寿命の延伸に向け、通いの場づくりを支援します。

**成年後見制度の利用促進**では、制度における地域連携ネットワークの中核機関を設置し、利用の促進を図られるよう支援します。

また、「**ちちが版地域包括ケアシステム**」を推進し、高齢者支援

に取り組みます。

●**ソサエティ5.0の推進**

山間地域において、ドローンやIoT、自動走行などの**未来技術**を活用して、持続可能な社会システムの構築を目指します。秩父市未来技術社会実装協議会を立ち上げ、現在、大滝地区での社会実装に向けて、基本計画の策定を進めています。ドローン物流、遠隔医療（オンライン診療）、秩父版MaaS（EVカーシェアリング、貨客混載）の各事業について、個別の技術実証の取り組みを進めます。

●**行政のデジタル化の推進**

**マイナンバーカードの取得を促進**し、住民票の写しおよび印鑑証明書のコンビニ交付の導入に向けて検討を進めます。

**重点事項13項目**

- ①計画に基づく将来のまちづくり
- ②セーフコミュニティの再認証
- ③ファシリティマネジメントの推進
- ④ゼロカーボンシティの推進
- ⑤森林環境譲与税の活用
- ⑥道路の整備
- ⑦障がい者福祉の充実
- ⑧保健センター事業の充実
- ⑨農業の振興
- ⑩吉田地区の振興
- ⑪大滝地区の振興
- ⑫荒川地区の振興
- ⑬公共性の高い機関のあり方の検討



(※) フレイル… 加齢とともに心身の活力（筋力や認知機能等）を含む生活機能が低下し、弱った状態。

健康と要介護状態の中間の段階であるが、適切な対応・対処で健康への回復・改善が可能な状態。